

たしかめ

1

なまえ
名前

1

1

図書室でほんをよむ。
としょしつ

2

2

おおゆきになって
おほゆき
除せつがたい変だ。
じよ
へん

3

3

こえをださずにめでよむ。
こゑ
ださず
に
めで
よむ。

4

4

いいたいことを発げんした。
いい
たい
こと
を
はつ
発げん
した。

5

5

夏やすみ、家族で旅こうにいった。
なつ
かぞく
りよ
旅こう
に
いった。

たしかめ Ⅰ

5	4	3	2	1
行	言	声	雪	読
夏休み、家族 <small>ぞく</small> で旅行 <small>りょ</small> に行 <small>い</small> った。	言 <small>い</small> いたいことを発 <small>は</small> 言 <small>つ</small> した。	声 <small>こゑ</small> を出 <small>で</small> さず目 <small>め</small> で読 <small>よ</small> む。	大雪 <small>おおゆき</small> にな <small>な</small> って除雪 <small>じゆ</small> が大変 <small>へん</small> だ。	図書室 <small>とくしつ</small> で本 <small>ほん</small> を読 <small>よ</small> む。

たしかめ

2

なまえ
名前

6

⑥ なん極^{きよく}は、みなみの端^{はし}にある。

7

⑦ と書室^{しょしつ}で 昆^{こん}ちゅうず鑑^{かん}をよむ。

8

⑧ しょ写^{しゃ}の時間^{じかん}、ていねいなじでかく。

9

⑨ いいほう法^{ほう}や じょうずなやりかた。

10

⑩ 夏^{なつ}やすみの思^{おも}いでをえにっ記^きにかく。

10	9	8	7	6
絵	方	書	図	南
夏休みの思い出を絵日記に書く。	いい方法や上手なやり方。	書写の時間、ていねいな字で書く。	図書室で昆虫図鑑を読む。	南極は、南の端にある。

たしかめ

3

なまえ
名前

11

11

クッキーの作りかたをしる。

12

12

はるの初めをそうしゅんという。

13

13

おもいやりの心がたい切だ。

14

14

につき帳にな前をしるす。

15

15

にちようびは家でゆっくりやすもう。

15	14	13	12	11
曜	記	思	春	知
日曜日は家でゆっくり休もう。	日記帳 <small>ちよう</small> に名前を記す。	思いやりの心が大切だ。	春の初め <small>はじ</small> を早春という。	クッキーの作り方を知る。

たしかめ

4

なまえ
名前

16

16

牛^{ぎゅう}にくのステーキを^た食べた。

17

17

おばあちゃんと電^{でん}わではなしをした。

18

18

ラジオできいたことを新^{しん}ぶんでよむ。

19

19

はる、きいろいはなといえはタンポポ。

20

20

あか、しろ、きのさんしよくで、どのいろが^す好き？

20	19	18	17	16
色	黄	聞	話	肉
赤、白、黄の三色で、どの色が好き？	春、黄色い花といえばタンポポ。	ラジオで聞いたことを新聞で読む。	おばあちゃんと電話で話をした。	牛肉のステーキを食べた。

たしかめ

5

なまえ
名前

21

くろくないけれど
こく板ばんという。

22

ふとい
丸まるたを
斧おので
割わる。

23

あかい
けいとの
て袋ふくろ。

24

背せが
たかい
こうこうせい
のお姉ねえさん。

25

ふう速すみ
ごじゅうメートル
の
強つよい
かぜ。

25	24	23	22	21
風	高	毛	太	黒
風速 <small>そく</small> 五十メートルの強い風。	背 <small>せ</small> が高い高校生の姉 <small>あね</small> さん。	赤い毛糸 <small>けい</small> の手袋。	太い丸太 <small>おの</small> を斧 <small>き</small> で割 <small>わ</small> る。	黒くないけれど黒板 <small>ばん</small> という。

たしかめ

6

なまえ
名前

26

26

快^{かい}せいとは、雲^{くも}ひとつ無^なくはれるひ。

27

27

た数決^{すうけつ}で、おおいほうに決^きめる。

28

28

しんが^きつ期、あたらしいクラスにな^きった。

29

29

いいかんがえをおもいついた。

30

30

さん角^{かく}けいは、とが^{かく}ったかたち。

30	29	28	27	26
形	考	新	多	晴
三 角 形 は、と が つ た 形 。	い い 考 え を 思 い つ い た 。	新 学 期 、新 し い ク ラ ス に な つ た 。	多 数 決 で 多 い 方 に 決 め る 。	快 晴 と は、雲 一 つ 無 く 晴 れ る 日 。

たしかめ

7

なまえ
名前

31

31

たい育は、からだを育てる時間です。

32

32

こうちようせんせいのおはなしはながい。

33

33

ちかづいて、ワツとおどかすきん所のこ。

34

34

おなじクラスのどう級せい。

35

35

いまはだめ。こん度はれたらやろう。

35	34	33	32	31
今	同	近	長	体
今はだめ。今度晴れたらやろう。	同じクラスの同級生。	近づいてワツとおどかす近所の子。	校長先生のお話は長い。	体育は、体を育てる時間です。

40

40

きい^{せい}ろい^{せん}の^{せん}うち^{がわ}側^でで^{でん}電^{しや}しゃ^をを^ま待^つ。

39

39

の^こぎ^りで^きき^をを^きり^きり^ふた^つに^せつ^{だん}断^{する}。

38

38

に^ほん^のの^かた^なを^{つか}使^うに^りと^う流[。]。

37

37

朝^{あさ}は^やく[、]か^いし^やに^でか^ける^お父^{さん}。

36

36

外^{がい}国^{こく}の^ひと^にに^であ^つて^かい^わした[。]。

たしかめ

8

なまえ
名前

40	39	38	37	36
内	切	刀	社	会
黄色い線の内側で電車を待つ。	のこぎりで木を切り二つに切断する。	二本の刀を使う二刀流。	朝早く、会社に出かけるお父さん。	外国の人に出会って会話した。

たしかめ

9

なまえ
名前

41

41

おみせが並ぶ商てん街。

42

42

いもうとはあねを「ねえちゃん」と呼ぶ。

43

43

さんしまい、いち番したのはいもうとは甘えんぼ。

44

44

運動場にはくせんを引く。

45

45

きしゃ、きしゃ、シュッポッポ。

4 5	4 4	4 3	4 2	4 1
汽	線	妹	姉	店
汽車、汽車、シュッポッポ。	運動場 <small>うんどう</small> に白線 <small>しやうせん</small> を引く。	三姉妹、一番下の妹は甘えん <small>あま</small> ぼ。	妹は姉を「姉ちゃん」と呼 <small>よ</small> ぶ。	お店が並ぶ商店街 <small>なりあなしょうかい</small> 。

たしかめ

10

なまえ
名前

46

46

深い^{ふか}うみの底^{そこ}にいる深^{しん}かいぎよ。

47

47

すいそう^{およ}で泳ぐ^{およ}さかなはきんぎよです。

48

48

あおぞらがひろがるこうだいなそら。

49

49

ぜん進^{しん}とは、まえに進^{すす}むこと。

50

50

もとおりに復^{ふく}げんされた。

50	49	48	47	46
元	前	広	魚	海
元どおりに復元 <small>ふく</small> された。	前進 <small>しん</small> とは、前 <small>まへ</small> に進 <small>すす</small> むこと。	青空が広がる広大な空。	水そうで泳 <small>およ</small> ぐ魚は金魚です。	深い海 <small>うみ</small> の底 <small>そこ</small> にいる深海魚 <small>しん</small> 。

たしかめ

11

なまえ
名前

51

51

い^いわ^わや^やま^まの^のが^がん^んせ^せき^きが^が道^{みち}を^をふ^ふさ^さぐ^ぐ。

52

52

ゆ^ゆう^うし^しょ^ょく^くは^は、み^みん^んな^なで^でた^たべ^べる^ると^と楽^{たの}しい^いね^ね。

53

53

き^きょ^ょう^う室^{しつ}で^で勉^{べん}強^{きやう}を^をお^おし^しえ^える^るせん^{せん}せい^{せい}。

54

54

つ^つき^きの^のひ^ひか^かり^りを^をげ^げっ^っこ^こう^うと^とい^いう^う。

55

55

か^か族^{ぞく}み^みん^んな^なで^で、い^いえ^えの^のな^なか^かの^のお^おお^お掃^{そう}除^じ。

55	54	53	52	51
家	光	教	食	岩
家族 ^{ぞく} みんなで、家 ^{うち} の中の大掃除 ^{そうじ} 。	月の光 ^{ひかり} を月光 ^{げっこう} という。	教室 ^{きょうしつ} で勉強 ^{べんきょう} を教 ^{おし} える先生 ^{せんせい} 。	夕食 ^{ゆしき} は、みんなで食 ^く べると楽 ^{たの} しいね。	岩 ^{いわ} 山の岩石 ^{がんせき} が道 ^{みち} をふさぐ。

たしかめ

12

なまえ
名前

56

56

みずをためるいけを貯すいちという。

57

57

運動かいのあかぐみとしろぐみ。

58

58

いちばんうしろは、最ごです。

59

59

みんなのにんずうをかぞえよう。

60

60

まるいたまを投げる砲がん投げ。

60	59	58	57	56
丸	数	後	組	池
丸い玉を投 <small>な</small> げる砲 <small>ほう</small> 丸投 <small>な</small> げ。	みんなの人数を数えよう。	一番後ろは、最 <small>さい</small> 後です。	運動会 <small>うんどう</small> の赤組と白組。	水をためる池を貯水 <small>すいすい</small> 池という。

61

うれしいな、漢^{かん}じのテストがひやくてんだ。

62

売^うりか^いする^ことを^を売^{ばい}い^いう。

63

強^{こわ}い^んに^にひ^つ張^ばつ^たら^ら、き^れた。

64

いち^とわの^の鳥^{とり}が、は^なを^をひ^ろげ^て飛^とんで^いく。

65

積^{せき}乱^{らん}う^んを^をに^にゆう^{どう}道^{どう}ぐ^もと^と呼^よん^でい^る。

65	64	63	62	61
雲	羽	引	買	点
積 ^{せき} 乱 ^{らん} 雲を入道雲と呼 ^よ んでいる。	一羽の鳥が、羽を広げて飛 ^と んでいく。	強引に引 ^ひ つ張 ^ば ったら、切れた。	売 ^う り買 ^か いすることを売買という。	うれしいな、漢 ^{かん} 字のテストが百点だ。

66

66

なつの初めを初かという。

67

67

こうえんで友達と遊んだ。

68

68

保育園のえんちようせんせい。

69

69

みぎ側をとおってかようつうがく路。

70

70

この市のじんこうは約ごまんにん。

70	69	68	67	66
万	通	園	公	夏
この市の人口は約五万人。	右側を 通 つて 通 う 通 学 路 。	保 育 園 の 園 長 先 生 。	公 園 で 友 達 と 遊 ん だ 。	夏 の 初 め を 初 夏 い う 。

71

71

せんとうに たつ
友達^{ともだち}の あた^あた^たま^まが みえた。

72

72

らいねんも 必ず^{かならず}きてね、ツバメさん。

73

73

きのう^きえ^えで^でこと^{こと}りが^{りが} さえ^{さえ}ず^ずる。

74

74

うた^うの^の か^か詞^しを^を 覚^{おぼ}えて^{えて} う^うた^たう。

74	73	72	71
歌	鳥	来	頭
歌の歌詞 <small>し</small> を覚えて <small>おぼ</small> て歌う。	木の上で小鳥がさえずる。	来年 <small>かなら</small> も必ず来てね、ツバメさん。	先頭 <small>だち</small> に立つ友達の頭が見えた。